

1 基本的な生活習慣・家庭でのコミュニケーション・学習時間・学校生活等について

(1) 朝食喫食率や家族との夕食、起床就寝時刻や睡眠時間、学校での出来事を話すことや家の手伝いをするについては全国と同じような傾向にあり、良好である。

(2) テレビやビデオ・DVDを見る、テレビゲーム等をする時間が全国に比べ多い。

(3) 学校の宿題はよくやっているが、学校外での学習時間が少ない

(4) 学校に行くのは楽しい、友達に会うのは楽しいと感じている児童生徒数は全国と同じような傾向にある。

2 学習状況について

(5) 中学校での話し合い活動が増加している。その他、自分の考えを発表したり、話し合い活動をする機会を増やす課題がある。

3 将来に関する意識について

(6) 将来の夢や目標について、小学校でやや減少傾向にある。

4 地域との関わり等について

(7) 地域や社会に関心が少ないが、何をすべきか考えることがある。

5 規範意識について

(8) 規範意識については、全国とほぼ同じような傾向にある。

6 自尊意識について

(9) 自尊意識の項目の中に、全国を下回る項目がある。

7 学習に対する関心・意欲・態度 <国語> について

(10) 国語学習に対する関心・意欲・態度について、全国の傾向と同じく小学校では低くなる傾向があり、中学校では増加傾向にある。

(11) 自分の考えを話したり書いたりすることについて、目的に応じて資料を読むなど、中学校では増加傾向、小学校では減少傾向である。

(12) 記述式の問題について、中学校で最後まで解答を書こうと努力したと回答している割合は増加しているが、小学校中学校共に課題がある。

8 学習に対する関心・意欲・態度 <算数・数学> について

(13) 算数・数学学習に対する関心・意欲・態度について、算数が「好き」という児童は小学校では増加したが、大切さや役に立つという点では減少している。

(14) 算数・数学の記述式の問題について、最後まで解答を書こうと努力したと回答している割合は増加しているが、小学校中学校共に課題がある。

9 授業・全般について

(15) 授業の内容が分かるかということについて、中学校数学では増加しているが、児童・生徒がわかる授業構成が課題である。

(16) 感想文や説明文を書くことについては、全国と同じような傾向であるが、書いたり説明したりすることへの取り組みが必要である。

(17) 授業のはじめに授業の目標（めあて・ねらい）の提示する。また、授業の最後に学習内容を振り返る活動をより多く行っていく。